

安倍フェローシップからのお知らせ

国際交流基金日米センター（CGP）と米国社会科学評議会（SSRC）は協力して、1991年に「安倍フェローシップ」プログラムを開始し、これまでに447名の研究者やジャーナリストにフェローシップを供与してきました。外交・安全保障、国際経済、環境、高齢化や都市化等の社会問題など幅広い分野のテーマに取り組む優れた政策研究が行われるとともに、日米を中心とした国際的なネットワークが形成され、多くの有益な発信や協働が生まれました。グローバル化が進む世界で地球的規模の課題解決に貢献する担い手の育成というプログラム創設の目的を達成するすばらしい成果であったと自負しております。

一方、日本国内で長期化する低金利により、基金の運用益を原資とするCGPの財政状況はこの30年間を通じて徐々に厳しいものとなり、これまでの規模ややり方で事業を維持していくことが非常に困難になってしまいました。そのため、CGPとSSRCは新規申請を受け付けないことを決定いたしました。

2022年、国際交流基金とSSRCは協力して、素晴らしいプログラムのレガシーである安倍フェローのネットワークを生かした国際的な協働を未来につなげるための取り組みを行ってまいります。

2022年3月

国際交流基金日米センター（CGP）
米国社会科学評議会（SSRC）